



御 挨拶 抄

新潟県支部長 雅楽 隆信



八月二十三日(日)、新潟市内、新潟会館で、東京理科大学から塚本

理事長、及び理窓会本部の児島幹事長をお迎えして、参加者三十名で新潟県支部総会を開催いたしました。

塚本理事長から東京理科大学は平成十八年に創立百二十五周年を迎えることと、大学の現状と今後の展望が話されました。平成十八年は大学が神田から神楽坂に校舎を移転して、百年を迎える年にも当たり、神楽坂地区と野田地区の再構築計画が立てられること。

記念事業は「Conscience」カンシャンス：英語・仏語ともに「良心」を意味し、「science」を含み、二十一世紀の科学技術にふさわしいコンセプトとして次のような計画が述べられました。

神楽坂地区に、教育研究施設としての高層棟を核に、遊歩道など憩いの空間も配した都市型大学を構築し、最先

端の設備を有する化学系研究棟(仮称)を建設し、体育館を併設すること。

野田地区に、総合研究所棟(仮称)が計画され、大学の「総合研究機構」の中核として横断的研究活動の拠点となります。総合研究所では、火災化学研究部門が二十一世紀COEプログラムに採択されました。総合研究所は、大学の特色ある分野のプロジェクト研究、学際的研究の推進、若手研究者の研究振興を目的に、全学の研究者が専門分野の垣根を越えた研究を遂行する組織として設立され、併せて「インキユベーションセンター棟」の建設も予定され、産学官連携による先端的科学技術の創成を図ること。

また、児島幹事長からは、理窓会本部の新体制と理窓会の活性化に向けた取組を次のように述べられました。理窓会の現状は毎年卒業生が四千五百人増加し、同窓は十五万人に達しているが、正会員は毎年の卒業生人数程度であることから、組織・財政規模が同規模の大学の同窓会に比して一桁程度低いことが述べられ、理窓会の活性化のための努力をすること。

卒業生のネットワークを構築し、有効に機能させることを組織化推進委員会で検討してもらおう。理窓会のIT化の推進として、本年三月の卒業生全員に生涯メールアドレスの配布をはじめ、理窓会員に広げることや、本部で前支

部、関連組織、認定団体のホームページをつくるなど、活性化に努めること。大学の百二十五周年記念募金運動に協力するだけでなく、理窓会の活性化に役立てること。

新潟県支部としても、大学の発展とともに、理窓会本部とともに同窓会員の結束を図り、理窓会の活性化に協力してまいりますので、会員の皆様から同窓会員の勧誘について一層のご支援をお願い申し上げます。

新潟県支部総会

県支部総会は毎年8月下旬の土曜日あるいは日曜日に開催されています。

手違い等により案内が届かないこともあろうかと思われれます。皆さんで周りの同窓に声をかけ合って参加いただければと願っています。今年の支部総会の議事等の内容は次の通りです。

平成十五年度事業報告

・支部役員会開催

6月29日 新潟会館

・支部総会開催

8月24日 高田ターミナル ホテル

・研修会開催

9月27日 新潟会館



新潟県支部総会 8月23日

- ・会員名簿(16年8月版)発行
- 8月24日 A4 24頁50部
- 1月13日 A4 24頁110部
- ・会報「新潟理窓17号」発行
- 10月30日 B5 6頁620部

平成十五年度会計収支決算

○収入の部	
繰越金	117,797円
会費	144,890円
臨時徴収	15,000円
雑収入	4,357円
合計	282,044円
○支出の部	
支部総会補助	50,000円
地区還元金	15,200円
名簿・会報	18,740円
送料	65,000円
事務用品	9,992円
資料代	6,000円
合計	164,932円

平成十六年度会計予算

○収入の部	
繰越金	117,112円
会費	140,000円
臨時徴収	10,000円
雑収入	2,888円
合計	270,000円
○支出の部	
支部総会補助	30,000円
支部還元金	22,000円
名簿・会報	20,000円
送料	34,000円
事務用品	15,000円
資料代	9,000円
予備費	140,000円
合計	270,000円

- 平成十六年度事業計画
- 支部役員会開催
- 7月11日 新潟会館
- 支部総会開催
- 8月22日 新潟会館
- 会員名簿発行
- 7月11日 30部(ベータ版)
- 1月中旬まで170部(確定版)
- 研修会開催
- 9月下旬 会場未定
- 会報「新潟理念18号」発行
- 10月下旬 200部

県 幹 事

役員改選

- 新任 柏崎総合高校 加藤 弘
- 新任 長岡工業高校 志田 重道
- 退任 県教育庁 坂上 隆
- 退任 高等学校教育課



同窓だより

変化への対応

H09理工・数 西脇 友哉

勤務校での体育祭のビデオを自宅にあるパソコンで編集しようとしたときのことである。自宅にあるパソコンは四年前に購入したもので、購入した当初は処理速度も速いものだった。しかし、ビデオを編集しようとする、今となっては非力なパソコンになっしまったことに気づかされた。

たった四年でこうも変わるものか、時代の変化は早い、と感じた経験だったのだ。パソコンは季節ごとに新商品が発売され、その都度、処理速度も向上していく。

変化するのは機械の世界だけではない。人間も変化していく。特に私のように高校生を相手にしている職業に就いていると、社会の変化だけでなく人間の変化にもついて行かなければならない。

今年度高校に入学した生徒は、平成十五年度より実施されている新しい学習指導要領の二回生である。中学で学習してきた内容が以前と異なるし、学習に対する意識の面でも以前とは違った傾向がある。そのため、指導の面で如何に対応していくかが大きな課題となっている。

時代の激しい変化は、教育の現場にも訪れている。



発見

H01理工・数 佐藤 直之

今年の四月に長岡駅近くに通越しました。少し落ちて着いてから近所を散歩したときに、「シンボルロード」なる道を見つけました。

長岡駅東口から右に少し歩くと、緩い左カーブの立体駐輪場があり、福島江に掛かる橋を渡った所から始まり学校町へ続く道の名称です。道の中央に遊歩道・草花や木・ベンチ・水のせせらぎ・噴水・子供の遊んでいる姿の彫刻・童謡の歌詞を埋め込んだ車止め・列車の車輪などがあり、その両側には車一台が通れる広さの車道があります。全幅二十数メートルの道が約三百メートル続いています。二歳の子供の散歩場所としては申し分ない所です。ただ、なぜ駅近くにこのような憩いの場があるのか考えたこともありませんでした。

以前、地図を見たら「シンボルロード」を境に町名が分かれていました。その後日、福島江に掛かる橋を渡っていると、橋の隣にある鉄骨で囲まれた倉庫の土台が頑丈であることに気付きました。長岡市民にとっては常識だと思っただけですが、私はそこで初めて「シンボルロード」が越後交通栃尾線(栃尾鉄道)の長岡〜悠久山ルートの一部であることを知りました。遊歩道には不自然なカーブ、無駄のある道幅町名の境のなぞも解け、倉庫は頑丈な鉄橋の上に建っていました。

### オーディオの 寒しき

S 54 理工物

加藤 寿一

昨年十月に年度途中の異動となり、長岡工業高校から新津高校勤務となりました。私の生まれは富山県境に近い青海町ですが、居を構えた吉田町から新潟市・長岡市・新津市といずれも三十五kmほどの距離を毎日自家用車で通勤する生活が二十年近く続いています。片道一時間弱の通勤時間ですが、この時間が家族への気兼ねもなく、音楽を楽しむ時間となっていて、通勤が苦に

なることはありません。

前任校では最後の半年間、電気科3年生の課題研究を担当させてもらい、生徒とスピーカーづくりを楽しみました。インターネットで見つけた小さなユニットをエンクロージャー(ボックス)に取り付けて通電した時の生徒の感激は、学生時代に秋葉原に足繁く通い、自作スピーカーに熱中していた頃の自分と同じものでした。同窓の中にも、自作の経験をお持ちの方がいらっしゃるのではないのでしょうか。最近はず、そのようなスリムな音楽メディアが話題になっていますが、音楽再生へのこだわりは、アンプやスピーカーなどの製品づくりにあると思うのですが如何でしょうか。通勤途中にヘッドフォンを耳に付けた生徒達を見ながら、もっと豊かな再生音を聴いて欲しいと、少々お節介な思いをしている昨今です。



### 雑感

S 52 理・数

日野 顕英

理科大を卒業した昭和五十二年四月から十六年間神奈川の県立高校でお世話になっていました。実家の事情があ

って四十で新潟へ戻ってきました。

神奈川にいた時は同窓の方が沢山おられたと思うのですが、県支部の理想会名簿を見たことがありませんでしたので、新潟県支部の同窓名簿を頂戴し、心強く思いました。

新潟へ戻ってきてからは、村上女子長岡ろう、見附と勤務して、現在村上高校山北分校に単身赴任しています。分校の教頭は、代々商業科目を教えることになっていらっしゃるらしく、数学の授業から大分遠のいてしまいました。今、閉校(平成十八年三月)準備に奔走しているところです。

### 横浜に

いたころは、全国理数系教員のための研修会の講師を頼まれたり、卒業ゼミ(宮原教授)の忘年会が毎年あったのに参加していたりと、理科大に足を運んで他業種の先輩や後輩と話せる機会があったのですが、このところご無沙汰をしてしまっています。新潟理窓が、理科大を思い出させてくれる唯一のものとなっています。支部役員の皆様や事務局の皆様にお世話になりつばなして申し訳ありませんが、今後ともよろしくお願いたします



### △云社社紹介

(直江津電子工業株式会社)

S 50 工・機

佐藤 茂樹

現在私の勤務する(株)直江津電子工業は、県南部中頸城郡頸城村にあり、北陸道と国道8号及び信越本線に挟まれた日本海から0.5kmほどの所に位置しています。数十年前は一面松林であったところで、今も会社建屋の周りにはかなりの松が群生しています。また隣には国立犀潟療養所(現在は独立行政法人犀潟病院)があります。

当社は、昭和40年代前半頃からの日本における半導体産業の発展の一翼を担うべく、親会社である(株)信越化学工業(本社千代田区大手町)が出資し、昭和44年に現在の場所に設立したものです。その後の半導体産業の急激な成長と相まって今では従業員約900名を抱える規模の企業になりました。そして姉妹会社である(株)信越半導体(本社千代田区丸の内)のグループの一員として、グループ全体で世界トップシェアの維持に貢献しています。

創業当初からの事業内容は、半導体シリコンウエハの製造であります。前述信越半導体から単結晶シリコンインゴット(円筒状の塊)の供給を受け、これを薄板円盤状にスライスし、研削洗浄・化学エッチング・研磨等の工程を経て最終的には鏡面(片面あるいは

直江津電子工業株式会社 社屋



えるわけです。現在では基盤の加工精度及び清浄度も想像を絶するほどで、表面の平坦度は0.1μmオーダー（ウエハを東京ドームほどに拡大しても凸凹は1mm以下）であり、また表面不純物（Ex. 重金属類）の濃度は10の10乗個（原

両面）のシリコンウエハなるものに加工します。このウエハがこの先顧客に納められた段階で写真技術の応用による微細加工がウエハ（基盤）上に施され、IC・LSIといった現代のエレクトロニクスの基礎を支えるものに姿を変

子）以下（世界人口の中の一人に相当）といった具合です。

当社は以前からこの地元工場のみであつて社員のほとんどは頸城村、大瀧町、直江津といった地域の人がほとん



どであり、その点若い社員の定着率が非常に高く、会社が伸びてゆく一因がこんなところにもあるのかも知れませんが（因みに理科大卒業生は現在5人）。しかしここ最近では労働生産性を向上させるといった理由から採用を極力絞

っており、高校就職担当の先生を困らせているような状況が続いています。ここ10年来企業を取り巻く環境は非常にきびしいところですが、以上ご紹介したこんな会社にも卒業生の一人がいることを知っていただければ幸いです。

「清里村 星のふるさと館」の紹介

S 47 理・物 早川 雅雄

私の勤務する「清里村星のふるさと館」は新潟県の南西部、上越市のとなりの清里村にあります。高田駅より車で40分、標高500mの「坊ヶ池」湖畔に位置しています。1993年（平成5年）、清里村が地域の資源や特性を活かして取り組む、個性的で魅力的な地域づくりをめざし、新潟県で最大級の口径65cm大型望遠鏡をはじめ8.5mのプラネタリウムを設置したものです。

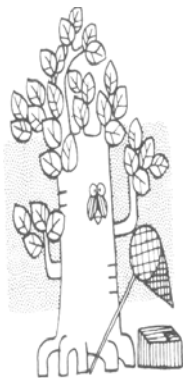
館では「本物」の実体験を提供することをモットーにしており、学校教育における自然体験学習の場を提供するのみならず年代や知識に応じた幅広い生涯学習の機会を提供しようと考えています。

日中晴れていれば大きく投影した太陽像の黒点や白斑、H線による太陽面の観察、明るい恒星や金星の観望を

行います。黒点の色は黒ではなく赤く見えたり緑や青く見えたりすること、日中いくつもの星がきらきら輝いていること、金星が月のように欠けて見えることに皆さん驚かれます。もちろん夜の星空はすばらしく、天の川も雲かと思うほど白く輝きます。毎週土曜日の観望会には多くの人が訪れ、星雲星団、美しい二重星などを観望します。

理科離れが聞かれる中、幼稚園保育園を対象にした「七夕フェア」、小学校のPTA活動や子ども会の活動にも力を入れています。

簡易宿泊等も備えており天文・宇宙を学ぶ絶好の館であります。「宇宙の夢とロマン」を与えてくれる「星のふるさと館」へおいで下さい。



△ 報

年一回、十月発行、何でもあり、掲載料なし、投稿、お待ちしております。

△ 費

協力をお願いします。確認後、名簿送付（12月頃）。